ISSN 0919-4657

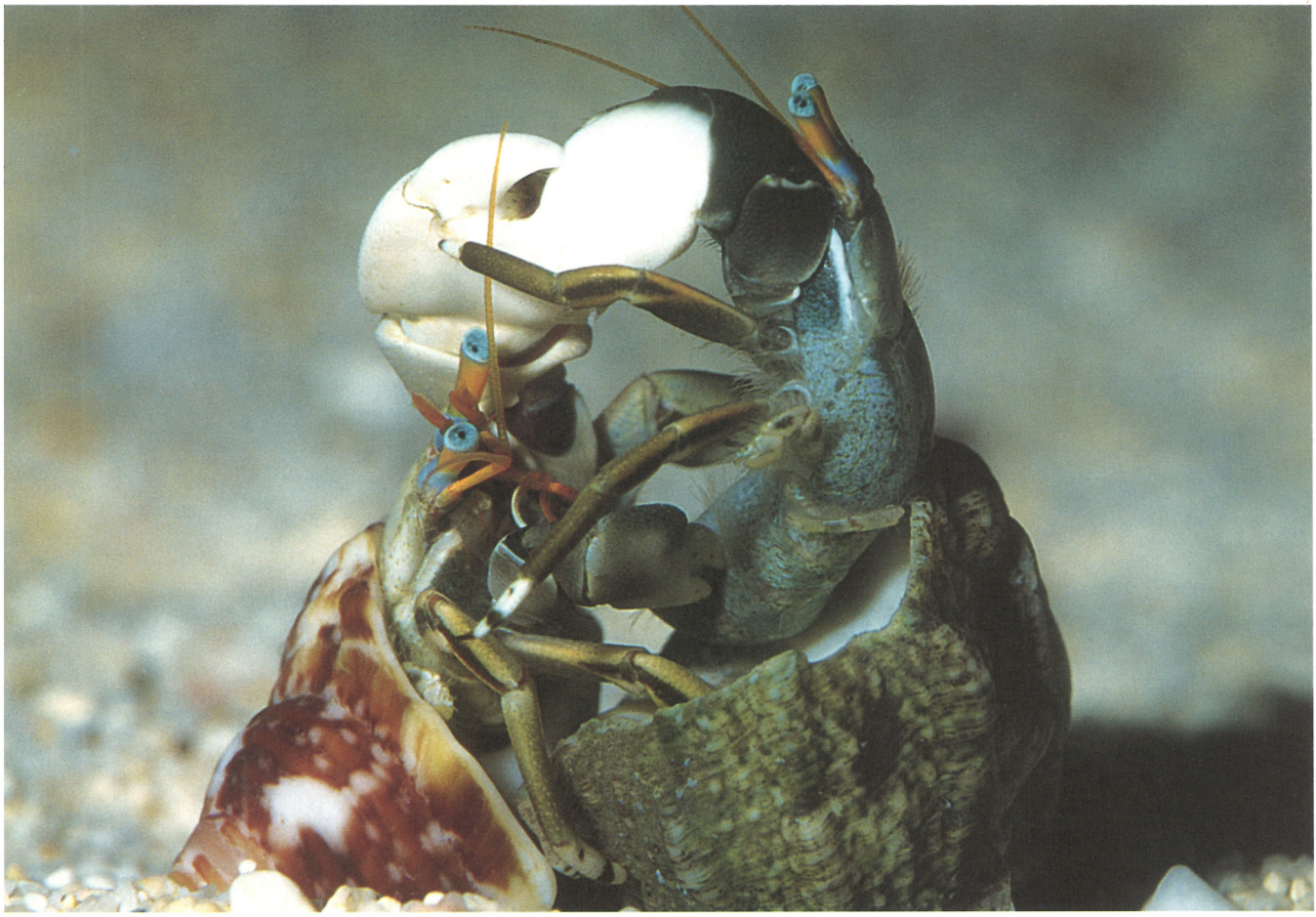
KONC

関西自然保護機構会報

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

19巻2号（通算34号）

シンポジウム●中池見湿原の保全



1997年12月
関西自然保護機構

表紙の言葉

「ヤドカリ」　　写真・文　今福道夫

ヤドカリは自分の貝殻が気に入らないと，ときに他人の貝殻を奪う。写真は，白い大きなハサミをもつスベスベサンゴヤドカリ(左)が，もう一匹(右)を貝殻から引っ張り出した瞬間である。このあと，引き出された哀れなヤドカリは，攻撃ヤドカリの放棄した貝殻に入って，一件落着。つまり，ヤドカリ２匹の間で貝殻が交換された。

ヤドカリにとっての貝殻は，私達でいうなら服のようなもの。だから小さすぎても大きすぎても具合が悪い。もし，小さい貝殻を持つ大きいヤドカリが，大きすぎる貝殻を持つ小さいヤドカリを襲って殻交換すると，どちらも適切な貝殻を持つことになり，負けたヤドカリも得をする。だが問題は，つねにそのような組み合わせで闘争が起こるかである。

ところで，このヤドカリ，ずいぶんきれいな眼をしている。「目は口ほどにものを言い」というが，このヤドカリではどうだろう。サンゴ礁に棲むサンゴヤドカリの仲間はいずれもカラフルだが，その色彩の意味については，ほとんど分かっていない。多様な生物種を含む豊かな自然は，好奇心をそそる謎の宝庫でもある。

関西自然保護機構（ＫＯＮＣ：Kansai Organization for Nature Conservation）

ＫＯＮＣはなんらかの形で，専門家として自然環境保護にかかわる人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

ＫＯＮＣはその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現代，次のような活動をしています。

１．　基礎研究の実施
２．　シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
３．　現地見学会の開催
４．　研究助成金の交付
５．　会報・連絡紙の発行
６．　自然保護に関する基礎資料の収集と配付
７．　自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
８．　国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・推持会員の会費により，まかなわれています。